

平成24年度 事業計画

(平成24年4月1日より平成25年3月31日迄)

1. 郷土芸能に関する発表会の開催

(1) 全国地芝居サミット

『第22回全国地芝居サミット in やぶ』を平成24年6月9日(土)、10日(日)に、兵庫県養父市において開催する。

6月9日(土)は、全国各地の地芝居団体の代表者が集い、地芝居団体が今抱えている諸問題を討議するサミットを開催。

6月10日(日)には、地元の人たちで構成される「葛畑座」と、その後継者である子ども達の「せきのみや子ども歌舞伎クラブ」の出演による地芝居の公演を行う。

(2) 全国獅子舞フェスティバル

『第15回全国獅子舞フェスティバル掛川』を平成24年11月10日(土)、11日(日)に静岡県掛川市において開催する。

10日(土)は、「掛川城御殿」内でシンポジウムを開催。基調講演、パネルディスカッション、掛川市瓦町の「かんからまち」の獅子舞演舞を行う。

11日(日)は、掛川市内の獅子舞と、市外県外から招致する獅子舞の共演。掛川市中心街(掛川城下)を歩行者天国として、市内、市外県外から招致した様々な形態の獅子舞がそれぞれの特色ある獅子舞を披露。

<出演予定団体>

静岡県外:①岩手県遠野市「鹿子踊り」②岩手県奥州市「行山流都鳥鹿踊」
③埼玉県川越市「川越まつり:手子舞姿」・「石原のささら獅子舞」
④長野県飯田市「屋台獅子」⑤石川県松任市「松任の獅子舞」

静岡獅子舞県内:①焼津市「獅子木遣り」、掛川市内:①瓦町・獅子舞「かんからまち」②仁藤町「大獅子」③紺屋町「木獅子」④連雀町「屋台」
⑤十九首「屋台」⑥小獅子所有1～2地区⑦龍尾神社の獅子頭
⑧垂木の獅子

(3) 全国こども民俗芸能大会

第14回「全国こども民俗芸能大会」を平成24年8月18日(土)に東京都新宿区の日本青年館大ホール(1,360席)において開催する。

出演団体は、全国の都道府県教育委員会より子どもを中心とした民俗芸能の活動をしている団体を推薦して頂き、選考委員会において選出する。「北海道・東北」、「関東」、「近畿・東海・北陸」、「中国・四国」、「九州・沖縄」の5

ブロックより各1団体ずつと在日の海外1団体と、本年度は特に当協会で実施している「東日本大震災～郷土芸能復興支援プロジェクト」の一環として東日本大震災の被災地より2団体を招聘して合計8団体が出演の交流公演を行う。

平成23年12月中旬に選考委員会を開催し、出演候補団体が選出される。
平成24年2月に出演団体が最終決定する。

(4) 明治天皇百年祭

平成24年7月30日は、明治天皇が崩御されて百年目を迎える。この大きな節目を、東日本大震災で被災された方々の慰霊と地域の復興を願い、震災の被害を受けた地域の郷土芸能を明治神宮で奉納し、広く一般にも公開する。

開催期日：平成24年7月28日(土)、29日(日)、30日(月)

会場：明治神宮境内及び原宿前広場

(5) かながわ伝統芸能祭 地芝居2013

神奈川県内の地芝居団体による公演と地芝居ワークショップを開催する。

出演団体等については、平成23年度中に「かながわ伝統芸能祭実行委員会」において決定する。

開催期日(予定)：平成25年3月

会場：神奈川県立青少年センター大ホール(812席)

2. 指導者、保存団体の育成

(1) 第9回伝統文化研修セミナーの開催

平成24年8月19日(日)日本青年館中ホール(100席)において開催する。

郷土芸能の指導者による事例発表や有識者によるパネルディスカッション等を通して、地域の郷土芸能の指導者及び郷土芸能の保存団体を次世代へ繋げていく方策を探る。

平成24年2月にはセミナーのテーマを決め、そのテーマに基づく基調講演者、事例発表者、パネラーを選出する。

セミナーは、基調講演1人、事例発表4人、パネルディスカッション5人を予定している。

(2) 東日本大震災「郷土芸能復興支援プロジェクト」

平成23年3月11日に起こった東日本大震災によって甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県の東北3県を中心として、被害を受けた郷土芸能の復興のための支援プロジェクト。広く一般に支援金を募り、指定文化財の有無に

関らず支援を行っていく。支援金の配賦などについては、郷土芸能復興支援プロジェクト委員会を設置して決定していく。

3. 情報の収集及び提供

(1) 会報発行

会員及び関係機関等から全国各地の郷土芸能の情報を収集し、会報に掲載して広く一般に公表する。

殊に平成24年度は、平成23年3月11日の東日本大震災で被災した地域の郷土芸能の情報を収集し、その現状及び復興情報を掲載していく。年4回の発行。発行部数1,200部。

(2) 情報の収集及び提供

会員、民俗芸能関係者及び関係機関等から全国各地の郷土芸能の情報を収集し、ホームページ上で掲載して広く一般に公表する。

殊に平成24年度は、23年3月11日の東日本大震災で被災した地域の郷土芸能の現状及び復興情報を収集し、その情報を随時ブログに掲載し、提供する。

(3) 映像の収集と活用

「郷土芸能ストリーム・ビデオライブ」

郷土芸能の上映会とそのインターネット配信を通じて、日本全国の地域コミュニティと密接に結びついている「郷土芸能」を若い世代を中心に発信し、郷土芸能に接する機会を広げることで、理解を深め、サポートする層の増進を図る。

開催日時:毎月第2水曜日(予定)

4. 出版物の発行

「日本の祭り文化事典」の頒布

本協会が編集した平成18年発行の「日本の祭り文化事典」を広く一般に頒布する。日本の祭り文化伝承の中から全国の主だった事例を都道府県ごとに取り上げ、写真・概説・伝承・次第・芸能解説・指定・問合せ先・アクセス等の内容の研究者や専門家のみならず日本の伝統文化に興味のある人にとって有意義な書籍。

5. 国際交流事業

日中国交正常化40周年記念事業『日中友好文化交流パレード・イン・北京』を開催する。

平成24年は日中国交正常化40周年にあたり、その記念事業として中国の首都北京において、北京一番の繁華街である「王府井」で山形県「花笠踊り」と徳島県「阿波踊り」が参加して、日本と中国のさらなる相互交流、相互理解、相互信頼を促進するために日中友好のパレードを実施する。

開催期日(予定):平成24年9月もしくは10月

会場:北京市「王府井」大街

出演:花笠踊り(山形県)100人、阿波踊り(徳島県)100人

6. 顕彰

全郷芸入会5年目と10年目の継続会員に対して感謝状を贈る。

7. 調査研究

「まつり研究会」の開催

まつり研究会を1ヶ所で開催する。開催地域、対象「まつり」、開催日等については今後検討していく。